

指定管理者制度導入施設評価票

評価対象年度	令和6年度		
施設名	大館能代空港周辺ふれあい緑地	設置年	平成 11 年
所在地	秋田県北秋田市脇神字奥小ヶ田116-1		
指定管理者	株式会社 友愛ビルサービス		
県所管課	港湾空港	課	調整・クルーズ・空港 チーム

1 施設の概要

設置目的	大館能代空港周辺の緑地の利用増進を図り、もってゆとりのある県民生活の実現に寄与するため。					
県の施策上の施設の位置付け	新秋田元気創造プランや各分野の個別計画等における施設の位置付け・目標 なし					
	新秋田元気創造プランや各分野の個別計画等における目標を達成するための取組として施設に求められているもの なし					
施設の面積	125,000㎡					
主な設置施設	センターハウス会議室・研修室(有料)、テニスコート(有料)、ステージ棟(無料)、芝生帯(無料)、クロスカントリースキーコース(無料)、展望広場(無料)他					
指定管理業務の内容	料金制	有 (利用料金併用制)				
	料金設定	テニスコート1面1時間220円、会議室・研修室1時間370円、温水シャワー1回100円(使用不可)				
	サウンディング実施対象施設※	×				
	指定期間	R3.4.1		～	R8.3.31	
	営業期間・時間	1月4日～12月28日(毎週水曜日を除く)9:00～19:00				
		<ul style="list-style-type: none"> ・使用の許可、取り消し等の業務 ・維持管理、運営に関する業務 ・利用促進に関する業務 				
自主事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者要望に応じた時間外開園業務 ・学童のクロカンスキー利用を考慮し、冬期間の休園日変更 					
直近3年の年間利用者数	R4	36,424 人	R5	14,357 人	R6	16,529 人
直近3年の年間利用収入	R4	638 千円	R5	353 千円	R6	292 千円
直近5年の収支決算(単位:千円)						
	R2	R3	R4	R5	R6	
収入計	14,099	14,719	14,995	15,459	15,605	
利用料金収入	207	257	387	273	321	
指定管理料	13,787	14,357	14,357	15,106	15,106	
その他収入	105	105	251	80	178	
支出計	12,530	14,799	14,598	13,576	16,130	
人件費	6,060	6,209	5,876	6,014	6,760	
光熱水費	1,989	1,736	2,728	2,531	2,289	
修繕費	183	133	23	92	269	
外部委託費	2,249	4,154	3,467	2,630	4,276	
その他経費	2,049	2,567	2,504	2,309	2,536	
差引	1,569	▲ 80	397	1,883	▲ 525	

※単年度維持管理・運営費が1億円以上の公募施設について、民間事業者の意見を参考に運営手法や公募要件を検討するため、指定期間終了の3年前にサウンディング(官民対話)を実施する。

2 観点ごとの評価

<観点 I> 施設の設置目的（施設の目指す姿）の達成に関する取組

【ポイント】

施設の設置目的（施設の目指す姿）を達成するための取組がなされ、その効果があったか。

○指定期間における運営方針・施設の利用目標

大館能代空港周辺の緑地の利用の増進を図り、もってゆとりのある県民生活の実現に寄与するため、本施設の利用促進に取り組む。

○目標の設定（毎年度、県と指定管理者が協議の上、業務計画書に定める目標）

令和6年度 の目標	利用者数 20,000人
--------------	--------------

○指定管理者による実績報告

令和6年度 の実績	実績	16,529人	達成率	82.9%	
	具体的な取組とその効果	具体的な取組みとまではいかないが、豊富な積雪に恵まれ3シーズン振りにクロスカントリースキー大会が2回開催された。			
直近3年 の実績	年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	目標	30,000	20,000	21,000	
	実績	19,529	36,424	14,357	
	達成率	65.1%	182.1%	68.4%	
令和7年度 の目標 (設定根拠)	目標	17,000人			
	設定根拠	実績を鑑みての設定とする。			

※指標が複数ある場合は欄を適宜追加すること。

<観点 I> の評価

	評価者	評価	コメント
評価欄	指定管理者	B	無料施設ではイベントが開催されても収益にならないため、管理者として誘客PRに力を注いでいない。しかし、今期は積雪に恵まれたことから、クロスカントリースキー大会の開催や、室内でのサッカーチーム教室の利用が自然誘発され、前年比115%の利用者となった。
	県 (所管課)	B	冬期利用者は自然環境に左右されるため、利用者を正確に見込むのは難しいと思われるが、3シーズンぶりにクロスカントリースキー大会の開催が実現した。また、会議室・研修室やテニスコートなど有料施設の利用者数も増加しており、今後も適切な維持管理を期待する。

【評価基準】次の基準により評価。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。
また、施設の設置目的（施設の目指す姿）を達成するための、指定期間における運営方針・施設の利用目標について、指定期間開始年度から評価対象年度までの達成状況をコメント欄に記載すること。

A: 目標達成（数値目標の場合は100%以上）

B: A及びC以外

C: 目標達成に向けて改善が必要（数値目標の場合は80%未満）

＜観点Ⅱ＞ 施設の有効性（利用者の満足度）の向上に関する取組

【ポイント】

サービスの質を維持・向上するための具体的な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

利用者満足度 令和6年度 の実績	実績	なし		
	具体的な 取組と その効果	なし		
利用者満足度 の状況 (直近3年)	R3年度	R4年度	R5年度	
	—	—	—	

＜観点Ⅱ＞の評価

評価欄	評価者	評価	コメント
	指定管理者		C
県 (所管課)		B	アンケート調査は回答が得られず評価のしようが無い実態であるが、直接の苦情はなく、地元利用が増えている現状を鑑みれば、安定した運営が行われていると言える。利用者の声を施設運営に反映させるため、アンケート以外の有効な方法の検討・実施を力強く進めていただきたい。

【評価基準】次の基準により評価を行う。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。

A:満足度80%以上 B:A及びC以外 C:満足度60%未満

＜観点Ⅲ＞ 効率性の向上等に関する取組

(1)経費の低減

【ポイント】

施設の管理運営(指定管理業務)に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

令和6年度 の実績	経費の 低減実績	支出合計が前年比119.1%となった。
	具体的な 取組と その効果	日常的な経費削減は限界に達しており、各種機材、車両の修理も遅延しているのが実情である。合わせて記録的な積雪による除雪経費増、燃料費高騰、人件費上昇により、支出増となっている。

※費用の総額では効果が計れない場合は、例えば利用者1人当たりの単価を算出する方法等も考えられる。

(2)収入の増加 ※指定管理料制施設を除く

【ポイント】

収入を増加するための具体的な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

令和6年度 の実績	収入の 増加実績	スキー大会が予定とおり開催されたことで、時間外開園他、昨年比で微増となっている。
	具体的な 取組と その効果	具体的な取り組みを行った結果ではなく、豊富な積雪に恵まれたことにより、クロスカントリースキー利用の増加が収入微増につながった。

＜観点Ⅲ＞の評価

	評価者	評価	コメント
評価欄	指定管理者	C	利用者増による収入微増はあったものの、除雪費、人件費、修繕費の増大が経営を圧迫しており、運営継続の見極め段階となっている。
	県 (所管課)	C	随時適切な維持管理を行い、かつ経費削減に日々努めているが、光熱費等の高騰や記録的な積雪による除雪経費増などが重なり困難な状況となっている。近年は人件費も右肩上がりであり、県としても見合った指定管理料の設定が必要である。

【評価基準】 次の基準により評価を行う。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。

A: (1)経費の低減、(2)収入の増加とも前年比で5%以上改善

B: A、C以外

C: (1)経費の低減、(2)収入の増加とも前年比で5%以上悪化

＜観点Ⅳ＞ 公の施設にふさわしい適正な管理運営に関する取組

【ポイント】

施設の管理運営（指定管理業務）の適切な実施に向けた具体的な取組がなされ、その効果があったか

○指定管理者による実績報告

令和6年度 の実績	<ul style="list-style-type: none"> ○利用者数が前年比115.1% <ul style="list-style-type: none"> ・センターハウス内でのブラウブリッツ秋田によるスポーツ教室の利用 ・屋外は冬期の積雪に恵まれ3シーズン振りのクロスカントリースキー大会開催 ○収支マイナス損益 <ul style="list-style-type: none"> ・除雪費の社内予算対比1,200千円超 ・圧雪車、除雪車、ボイラーの故障による修繕費用の掛かり増し ○危機管理等 <ul style="list-style-type: none"> ・例年より継続し「クマ出没対応マニュアル・緊急時連絡体制」を整備している。 ○時間外開園の対応 <ul style="list-style-type: none"> ・例年より継続し、施設利用者から開園時間外の利用の申し出があった場合は、弊社の裁量で開園の対応をしている。
--------------	---

＜観点Ⅳ＞の評価

	評価者	評価	コメント
評価欄	指定管理者	C	無料施設が大半であり、有料施設も安価な提供であるため、指定管理料内ギリギリの管理業務遂行であった。また、維持向上の面では、具体的な取組みは難しく赤字損益を計上したことは、指定管理を超え本企業自体にとってマイナスの結果となった。
	県 (所管課)	B	有料施設が安価であるため、利用が増加しても収益は微増しか見込めず、誘客策にも限界が見える。しかし、指定管理者の維持管理や経費削減に努める姿勢は強健であり、利用料や人件費の増加など時勢に見合った経費計上により、安定した運営は見込める。

【評価基準】 A: 順調(改善点なし)、B: 概ね順調(重大な問題点なし)、C: 改善が必要(重大な問題点あり)

県(所管課)の評価においては、モニタリング結果を踏まえて評価を行う。

【県の施策達成に向けた県所管課の施設運営に対する考え方】

※全施設記載

○県の施策の達成状況(施設を運営することで、県の施策がどの程度達成されたか等)
地元学校の部活動での利用や各種イベントによる利用で、ゆとりのある県民生活の実現に寄与している。また、不定期ではあるが、大規模コンサートの受入等によって、県内外からの集客実績もある。
○施設運営の課題
・施設の老朽化
○今後の方向性(県の施策の達成状況や課題を踏まえて、今後所管課としてどのように対応していくか等)
各種催し等による利用や、普段の個人利用が一定数あり、今後も継続して利用されるものと考えられる。引き続き県民が安心して使用できる施設として、計画的な修繕を行いながら、維持管理に努めていく。

【外部有識者委員会による評価(提言):令和 年度実施】

※今年度評価対象施設は、外部有識者委員会終了後、行政経営課が記載の上で公表する。

評価(提言)
○施設の管理運営状況について(<観点Ⅰ>～<観点Ⅳ>に対するコメントを記載)
○県の施策達成に向けた施設運営について (県の施策達成に向けた県所管課の施設運営に対する考え方を踏まえてコメントを記載)

【外部有識者委員会による評価(提言)を踏まえた今後の対応方針:令和 年度策定】

今後の対応方針
指定管理者(施設の管理運営等について今後の対応方針を記載)
県所管課(県の施策達成に向けた施設運営等について今後の対応方針を記載)

【今後の対応方針の進捗状況について】

※今後の対応方針策定済みの施設について、策定翌年度の評価対象年度から記載

今後の対応方針の進捗状況
指定管理者(施設の管理運営等について今後の対応方針に係る進捗状況を記載)
県所管課(県の施策達成に向けた施設運営等について今後の対応方針に係る進捗状況を記載)